

厚生労働省岩手労働局発表
令和6年11月18日（月）

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 瀧 磯 寿
課長補佐 藤 元 佳 能
（電話） 019-604-3007

報道関係者 各位

令和6年1月～10月分の労働災害発生状況
（速報値）を公表します

～死傷者数は前年同期比で約9%の減少～

岩手労働局（局長 栗村 勝行）は、令和6年1月～10月の県内の全業種における労働災害による死傷者数（休業4日以上）と死亡者数の状況を取りまとめました。

※令和6年発生分集計から新型コロナウイルス感染症による死傷者数を分けて公表しています。

1 令和6年1月～10月の死傷者数（10月末現在の速報値）は987人で、前年同期比で99人（9.1%）の減少、死亡者数は9人で前年同期比で2人の増加となっています。 *新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

2 業種別の災害発生状況等の詳細については、別添のとおりとなっています。

寒候期に入り、積雪・凍結など冬季特有の気象条件に起因する「冬季特有災害」の発生リスクが高まる時季となります。

特に転倒災害については半数近くが12月から2月の冬季に発生していることから、例年12月から1月にかけて展開する「いわて年末年始無災害運動」において重点取組事項としていますが、転倒災害は2月にも多発する傾向がみられることから、岩手労働局・各労働基準監督署では令和5年度から12月から2月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、転倒災害防止対策のより一層の強化を図ることとしています。

I 令和6年（1月～10月）の労働災害発生状況（令和6年10月末現在の速報値）

1 死傷災害（休業4日以上）【表1】（P.3）、【グラフ1】、【グラフ2】（P.5）、【参考3】（P.8）

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は987人で、前年同期比で99人（9.1%）の減少となっています。

（2）業種別の状況[大分類]

① 前年同期比で増加数の多い順に、「畜産水産業」58人（前年同期比+7人、+13.7%）、次いで、「鉱業」3人（同+2人、+200%）、「運輸交通業」111人（同+2人、+1.8%）及び「貨物取扱」5人（同+2人、+66.7%）が同数、「農林業」45人（同+1人、+2.3%）となっています。

② 前年同期比で減少数の多い順に、「製造業」195人（前年同期比-34人、-14.8%）、「建設業」151人（同-23人、-13.2%）、「保健衛生業」120人（同-20人、-14.3%）、「商業」137人（同-18人、-11.6%）、「通信業」10人（同-7人、-41.2%）、「接客娯楽業」55人（同-4人、-6.8%）、となっています。

（3）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、265人（26.8%）となっています。次いで、「墜落・転落」145人（14.7%）、「動作の反動・無理な動作」121人（12.3%）、「はさまれ・巻き込まれ」103人（10.4%）、「激突」87人（8.8%）、「激突され」70人（7.1%）、「切れ・こすれ」62人（6.3%）、「交通事故（道路）」41人（4.2%）、「飛来・落下」36人（3.6%）となっています。

2 死亡災害【表2】、【表3】（P.4）

（1）全業種合計

全業種合計の死亡者数は9人で、前年同期と比べ2人の増加となっています。

（2）業種別の状況

業種は、「建設業」が5人、「林業」が2人、「その他」が2人となっています。

3 新型コロナウイルス感染症による労働災害【別表】（P.9）

新型コロナウイルス感染症による労働災害は233人で、前年同期比で47人（16.8%）の減少となっています。

II 令和6年1月～10月の労働災害発生状況を踏まえた取組みについて

寒候期に入り、積雪・凍結など冬季特有の気象条件に起因する「冬季特有災害」の発生リスクが高まる時季となります。

特に転倒災害については半数近くが12月から2月の冬季に発生していることから、

例年 12 月から 1 月にかけて展開する「いわて年末年始無災害運動」において重点取組事項としていますが、転倒災害は 2 月にも多発する傾向がみられることから、岩手労働局・各労働基準監督署では令和 5 年度から 12 月から 2 月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、転倒災害防止対策のより一層の強化を図ることとしています。

12月から2月は

冬季転倒災害防止対策強化期間

です。

職場から転倒災害をなくしましょう！

岩手労働局では、冬季間における転倒災害を防止するため、12月から2月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、「いわて年末年始無災害運動」と連動し、転倒災害防止に取り組みます。

❗ 岩手労働局管内では、**転倒**による労働災害が最も多く全体の**約3割**を占めています。特に**12月から2月の冬季**に多く発生しています。

岩手労働局 過去10年平均の月別転倒災害発生状況

月	発生数
1月	74
2月	57
3月	24
4月	22
5月	21
6月	18
7月	21
8月	20
9月	21
10月	23
11月	23
12月	45

※ 過去10年平均：平成26年から令和5年までの確定値

厚生労働省
厚手労働局 / 各労働基準監督署

冬季特有の転倒災害を防止しよう！

★ 転倒危険マップを作成しましょう

❗ 滑りにくい靴を履いて安全に歩行しましょう

ピン・金具付きの靴底	深い溝のある靴底	～雪道を歩くときのポイント～
靴底に付いた金属のピンや金具が氷を引っかき、突き刺して滑りを防ぎます。脱着可能な靴用アタッチメントタイプもあります。	グリップ力が強いので、滑りにくくなっています。溝が浅くなるとグリップ力が低下するので溝の点検も重要です。	大きな歩幅で歩くとかかとが接地する
【注意】コーベト等に金属やピンが引っかかってつまづいたり、タイル等の床で滑ってしまふ危険があります。	【注意】溝が深くて靴底が固いと「つるつる路面」では滑りやすく、また、溝に雪が詰まると滑りやすくなります。	歩幅は小さくすり足で歩くと靴底全体に重心を乗せるように歩行する

積雪・凍結による転倒災害の防止

- 安全委員会等における転倒災害防止に係る調査審議。
- 職場巡視等による転倒災害防止対策の実施（定着）状況の確認。
- 気象情報の活用によるリスク低減の実施。
- 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底。
- 防滑靴の着用や安全な歩き方の指導等。

資料に関するお問い合わせ先： 岩手労働局健康安全課 各労働基準監督署

職場のあんげんサイト (2024.10)

【表1】

令和6年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和6年10月

岩手労働局

業種	令和6年		岩手局 令和5年		盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	23 (6)	52 (17)	19 (7)	82 (29)							
製造業	食料品	23 (6)	52 (17)	19 (7)	82 (29)	2 (2)	1 (1)	8 (2)	1 (1)	10 (1)	1 (1)
	水産・食料品 上記以外の食料品					26 (8)	2 (1)		7 (4)		7 (2)
	繊維・衣服その他繊維製品	4 (2)	4 (2)	7 (3)	7 (3)	2 (1)		1 (1)	1 (1)		
	木材・木製品、家具・装備品	15 (5)	15 (5)	21 (7)	21 (7)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)		2 (1)
	パルプ・紙、印刷・製本	7 (1)	7 (1)	5 (2)	5 (2)	2 (1)			4 (1)		1 (1)
	化学工業	13 (1)	13 (1)	8 (2)	8 (2)			1 (1)	9 (1)	1 (1)	
	窯業・土石	16 (3)	16 (3)	5 (1)	5 (1)		1 (1)	2 (1)	3 (1)	5 (1)	2 (1)
	鉄鋼業、非鉄金属	3	3	7 (2)	7 (2)				1 (1)	2 (1)	
	金属製品	14 (2)	14 (2)	18 (2)	18 (2)	1 (1)	2 (1)		7 (1)	3 (1)	1 (1)
	一般機械器具	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	2 (1)		3 (1)	10 (2)	1 (1)	
	電気機械器具	9 (3)	9 (3)	14 (7)	14 (7)		3 (1)	1 (1)	4 (1)	1 (1)	
	輸送用機械製造	7 (2)	7 (2)	9 (4)	9 (4)			2 (1)	2 (1)	3 (1)	
	電気・ガス	3 (2)	3 (2)	2	2				1 (1)		2 (1)
その他の製造	12 (4)	12 (4)	15 (7)	15 (7)	4 (2)	1		2 (1)	2 (1)	1 (1)	
小計	195 (46)	195 (46)	229 (68)	229 (68)	40 (16)	14 (3)	20 (6)	54 (11)	27 (4)	17 (2)	23 (4)
鉱業	3 (1)	3 (1)	1	1				3 (1)			
土木工事	④ 51 (4)	① 56 (6)	① 56 (6)	① 56 (6)	17 (4)	8	① 3	③ 11	6	1	6
建築	① 12 (2)	② 27 (6)	② 27 (6)	② 27 (6)	3						① 2
鉄骨・鉄筋家屋											
木造家屋	38 (4)	38 (4)	33 (4)	33 (4)	7				8 (1)	4	10
その他の建築工事	22 (4)	22 (4)	31 (5)	31 (5)	6	2	1	8 (2)	2 (1)	1	2 (1)
その他の建設	28 (1)	28 (1)	27 (5)	27 (5)	8 (1)		2	8	4	3	3
小計	⑤ 151 (15)	③ 174 (26)	③ 174 (26)	③ 174 (26)	41 (5)	10	① 6	③ 42 (7)	20 (2)	9	① 23 (1)
運輸	101 (22)	101 (22)	99 (14)	99 (14)	2	1	4 (1)	34 (7)	10 (3)	4	11 (6)
道路貨物運送業											
その他の運輸交通業	10 (3)	10 (3)	10 (7)	10 (7)	6 (1)			2	1 (1)		1 (1)
貨物取扱	5 (2)	5 (2)	3 (2)	3 (2)				1			
農業	8 (2)	8 (2)	13	13	3 (2)	1		2	1		1
農林業	② 37 (4)	① 41 (5)	① 41 (5)	① 41 (5)	8 (1)	3	6	3	1	1 (1)	② 15 (2)
畜産											
水産業	48 (6)	48 (6)	41 (4)	41 (4)	23 (4)		2	8 (1)	5		10 (1)
商業	106 (41)	② 125 (65)	② 125 (65)	② 125 (65)	44 (17)	3	10 (4)	25 (12)	13 (4)	1 (1)	10 (3)
小売業	31 (13)	31 (13)	30 (11)	30 (11)	14 (7)	2	2 (1)	7 (2)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
その他の商業	10 (1)	10 (1)	17 (8)	17 (8)		2		3	2	2 (1)	1
通信業	87 (36)	87 (36)	109 (40)	109 (40)	33 (15)	3 (1)	11 (4)	14 (7)	12 (6)	7 (1)	7 (2)
保健	33 (14)	33 (14)	31 (18)	31 (18)	15 (8)		1	13 (3)	2 (1)	1 (1)	1 (1)
社会福祉施設 その他の保健衛生業											
旅館業	20 (10)	20 (10)	15 (4)	15 (4)	8 (4)	4 (1)		5 (4)	1		2 (1)
飲食店	27 (7)	27 (7)	26 (11)	26 (11)	16 (6)	1		8 (1)			2
その他の接客娯楽業	8 (4)	8 (4)	18 (7)	18 (7)	4 (1)			2 (2)	1 (1)		1
娯楽業	26 (19)	26 (19)	22 (14)	22 (14)	16 (13)		1	8 (6)	1		1
ビルメンテナンス業	② 71 (17)	① 82 (32)	① 82 (32)	① 82 (32)	① 35 (7)			① 15 (2)	4 (2)	3	11 (3)
その他(上記以外の全ての業種)	⑨ 987 (265)	⑦ 1,086 (328)	⑦ 1,086 (328)	⑦ 1,086 (328)	② 374 (111)	46 (5)	59 (24)	⑤ 298 (94)	103 (25)	49 (8)	③ 123 (27)
合計	987 (265)	1,086 (328)	1,086 (328)	1,086 (328)	-99	-9.1%	-9.1%	-16.4%	-25.4%	-31.9%	24.2%
前年同月					-28	4.3%	16.9%	-49	-35	-23	24
増減数					-28	4.3%	16.9%	-49	-35	-23	24
増減率					-7.5%	4.3%	16.9%	-16.4%	-25.4%	-31.9%	24.2%

(注) 令和6年10月末の速報値、令和5年10月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。

○内は転倒災害者数(内数)です。

新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【表2】

令和6年 死亡災害発生状況（令和6年10月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	釜石	建設業 (橋梁建設工事業)	1月	金	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	建築物、構築物	橋梁補修工事において、被災者が型枠工事の支障となる切り株を除去する作業を行っていたところ、約4mの高さの橋のたもとから河川敷に墜落し、死亡したものの。
2	二戸	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	1月	土	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	被災者が野田村の建設現場から宮城県内の事業場に帰社するため三陸道入り線を運転中、中央分離帯のガードレールに衝突し、死亡したものの。
3	花巻	建設業 (道路建設工事業)	5月	木	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	飛来、落下	立木等	工事現場で立木の伐採中、伐倒した立木にツルが絡まっており、倒れる勢いで他の立木も引っ張られ、折れて飛んできた立木の一部が被災者の頭部を直撃し、死亡したものの。
4	花巻	建設業 (橋梁建設工事業)	5月	木	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、巻き込まれ	高所作業車	橋梁の補修作業中、高所作業車の作業床に被災者と同僚の2名が搭乗し、同僚が前方でアームを伸ばしながら上昇させていたところ、同僚の後方にいた被災者がコンクリート桁と高所作業車の作業床の手すりの間にはさまれ、死亡したものの。
5	二戸	農林業 (木材伐出業)	6月	金	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	地山、岩石	チェーンソーによりアカマツの伐倒作業を行っていた被災者が、伐倒木の横に倒れている状態で発見されたものの。
6	二戸	農林業 (その他の林業)	7月	水	男	70歳代 (1年以上 10年未満)	激突され	立木等	立木の伐倒作業時、伐倒方向へ向けてくさびを打ち込んでいたところ、予定していたところとは異なる方向に木が倒れ、倒れた先にいた被災者が、当該伐倒木に背後から激突されたものの。
7	盛岡	その他の事業 (その他)	7月	金	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	その他	その他の環境等	草刈り作業を行っていたところ、被災者が左上腕部を蜂にさされ、蜂刺症により死亡したものの。
8	花巻	建設業 (その他の土木工事業)	9月	水	男	70歳代 (30年以上)	激突され	トラック	大雨の影響で損傷した工事現場に通じる道路に碎石を敷く等の復旧作業を行っていたダンプトラックが後進する際に被災者がダンプトラックにひかれて死亡したものの。
9	花巻	その他の事業 (その他)	10月	月	男	60歳代 (30年以上)	激突され	フォークリフト	倉庫内で米の受入れ作業をしていた被災者が同僚の運転するフォークリフトにひかれ死亡したものの。

【表3】

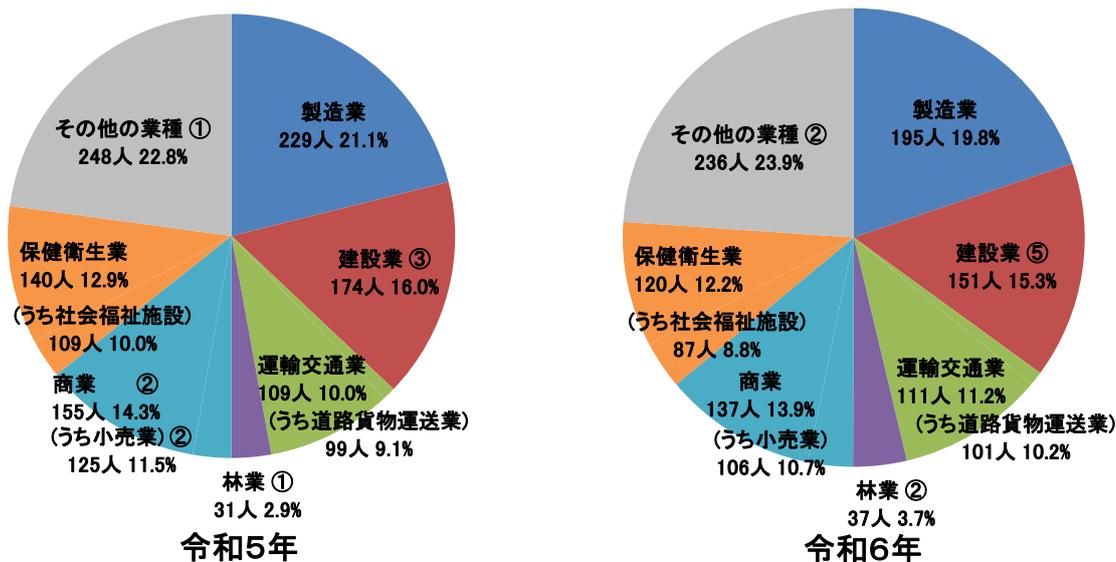
令和6年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

（令和6年10月末日現在）

業種別	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	林業	商業	左記以外	9人 (前年同期7人)
	0人 (0人)	0人 (0人)	5人 (3人)	0人 (0人)	2人 (1人)	0人 (2人)	2人 (1人)	
監督署別	盛岡	宮古	釜石	花巻	一関	大船渡	二戸	
	1人 (2人)	0人 (0人)	1人 (0人)	4人 (5人)	0人 (0人)	0人 (0人)	3人 (0人)	
事故の型別	墜落・転落	転倒	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	
	2人 (4人)	0人 (0人)	1人 (0人)	0人 (0人)	3人 (0人)	1人 (1人)	0人 (0人)	
	破裂	高温の物との接触	激突	感電	有害物等との接触	交通事故 (道路)	その他	
	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	1人 (2人)	1人 (0人)	

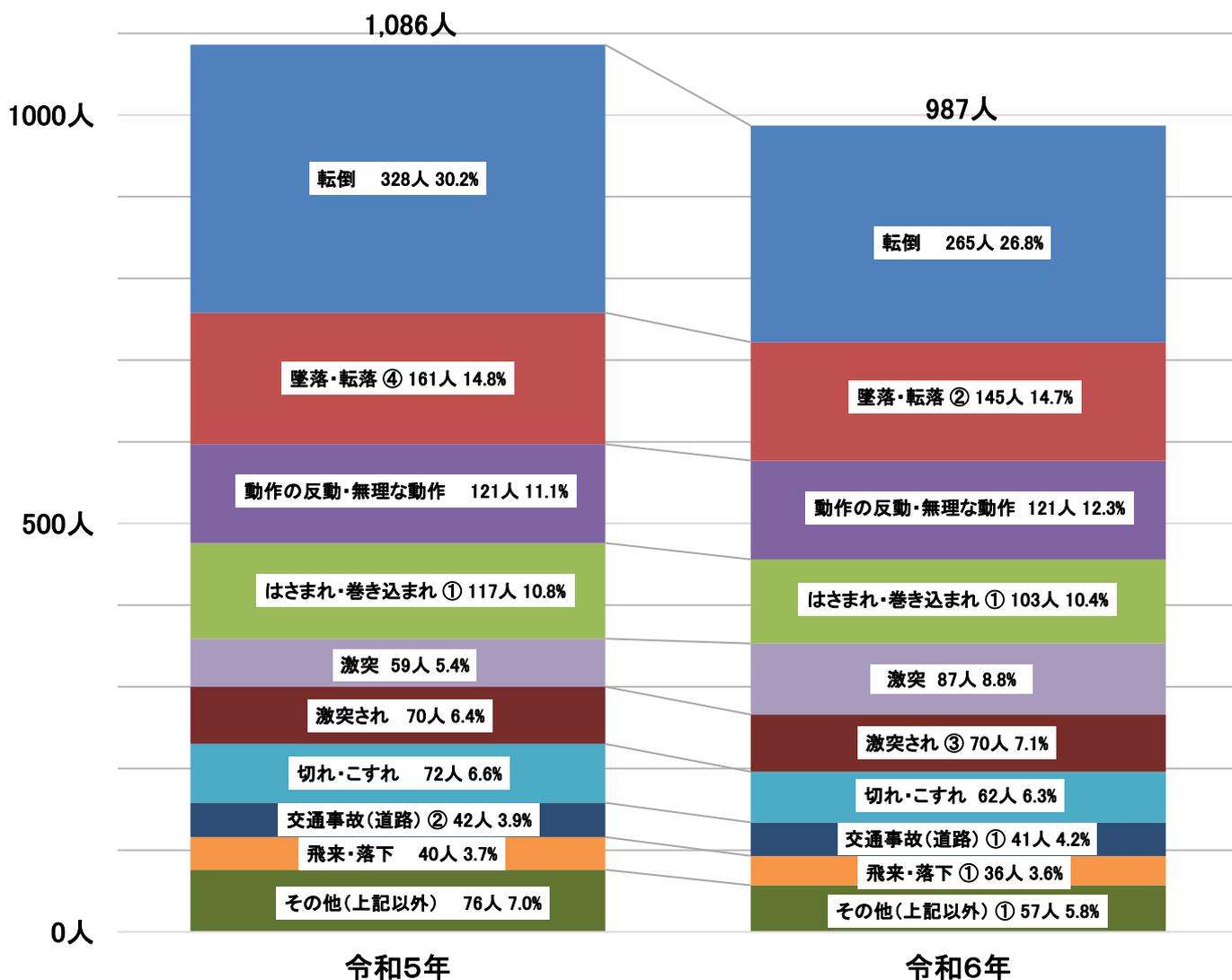
注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】 令和5年・令和6年 業種別労働災害発生状況[1月～10月]*



* 令和5年は令和5年10月末の速報値、令和6年は令和6年10月末の速報値

【グラフ2】 令和5年・令和6年 事故の型別労働災害発生状況[1月～10月]*



* 令和5年は令和5年10月末の速報値、令和6年は令和6年10月末の速報値

○内は死亡者数(内数)です。

【参考3】

令和6年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

令和6年(令和6年10月末の速報値)

岩手労働局

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	18	46	15	10	5	10	42	18	1	0	5	0	0	0	0	1	1	0	22	1	0	195
建設業	50	15	12	9	3	15	13	14	2	0	2	0	0	0	0	0	7	0	7	2	0	151
道路貨物運送業	27	22	13	3	3	6	12	1	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	9	0	0	101
林業	2	4	1	5	1	11	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	37
小売業	12	41	10	3	2	1	4	6	0	0	2	1	0	0	0	0	6	0	17	1	0	106
社会福祉施設	3	36	6	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	31	4	0	87
全産業	145	265	87	36	16	70	103	62	3	0	23	3	0	0	0	1	41	0	121	11	0	987
	14.7%	26.8%	8.8%	3.6%	1.6%	7.1%	10.4%	6.3%	0.3%	0.0%	2.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	4.2%	0.0%	12.3%	1.1%	0.0%	100.0%

令和5年(令和5年10月末の速報値)

製造業	16	69	9	10	4	8	48	29	0	0	13	2	0	1	1	0	3	0	15	0	1	229
建設業	52	26	7	14	4	7	21	17	1	0	7	2	0	0	0	0	8	1	6	1	0	174
道路貨物運送業	29	14	8	5	2	7	10	0	0	0	3	0	0	0	0	0	7	0	13	1	0	99
林業	3	5	0	3	0	11	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	31
小売業	14	55	6	1	1	4	4	7	1	0	10	0	0	0	0	0	9	0	13	0	0	125
社会福祉施設	5	40	6	0	0	8	3	3	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	37	3	0	109
全産業	161	328	59	40	12	70	117	72	2	0	43	7	0	1	1	0	42	1	121	8	1	1,086
	14.8%	30.2%	5.4%	3.7%	1.1%	6.4%	10.8%	6.6%	0.2%	0.0%	4.0%	0.6%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	3.9%	0.1%	11.1%	0.7%	0.1%	100.0%

<差分>

製造業	2	-23	6	0	1	2	-6	-11	1	0	-8	-2	0	-1	-1	1	-2	0	7	1	-1	-34
建設業	-2	-11	5	-5	-1	8	-8	-3	1	0	-5	-2	0	0	0	0	-1	-1	1	1	0	-23
道路貨物運送業	-2	8	5	-2	1	-1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-5	0	-4	-1	0	2
林業	-1	-1	1	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
小売業	-2	-14	4	2	1	-3	0	-1	-1	0	-8	1	0	0	0	0	-3	0	4	1	0	-19
社会福祉施設	-2	-4	0	0	0	-6	-3	-2	0	0	-2	0	0	0	0	0	2	0	-6	1	0	-22
全産業	-16	-63	28	-4	4	0	-14	-10	1	0	-20	-4	0	-1	-1	1	-1	-1	0	3	-1	-99

新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

令和6年 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

岩手労働局

令和6年10月

業種	岩手局		増減率	増減数	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	令和6年	令和5年									
製造業	食料品										
	水産食料品										
	上記以外の食料品	1		-1							
	繊維・衣服その他繊維製品										
	木材・木製品、家具・装備品										
	パルプ・紙、印刷・製本										
	化学工業										
	窯業土石										
	鉄鋼業、非鉄金属										
	金属製品										
	一般機械器具										
	電気機械器具										
輸送用機械製造											
電気・ガス											
その他の製造											
小計	1		-1								
鉱業											
建設業	土木工事										
	鉄骨・鉄筋家屋										
	木造家屋										
	その他の建築工事										
	その他の建設										
小計											
運輸交通業	道路貨物運送業	7		-7							
	その他の運輸交通業										
	小計	3		3							
農林業	農業										
	林業										
	畜産業										
	水産業										
	小売業	3		-3							
	その他の商業										
通信業											
保健衛生業	社会福祉施設	131	164	-33	35	5	1	18	25	31	16
	その他の保健衛生業	98	94	4	17	25	28	2	5	21	
接客娯楽業	旅館業	1		1					1		
	飲食店	1		-1							
その他	ビルメンテナンス業	2		-2							
	その他(上記以外の全ての業種)	8		-8							
	合計	233	280	-47	52	30	29	20	31	55	16
<p>(注) 令和6年は令和6年10月末の速報値、令和5年は令和5年10月末の速報値です。</p> <p>○内は死亡者数(内数)です。</p>											
<p>前年同期増減率</p>											
<p>前年同期増減数</p>											
<p>増減率</p>											